

TODAY'S PROGRAM 本日のプログラム

13:00 - 16:00

ファイナルピッチ

16:00 - 17:30

審査・交流会

17:30 - 18:00

表彰

PRESENTER

プレゼンター



埼玉県知事
大野 元裕

埼玉県サーキュラーエコノミー
スタートアップ
ビジネスプランコンテスト

AWARDS 表彰

最優秀賞

賞金 **100万円**

優秀賞(2者)

賞金 **50万円**

特別賞

賞金 **30万円**

副賞



コエドテラス無償利用権

埼玉りそな銀行



M's SQUAREでの
企業紹介(紹介動画放映)

武蔵野銀行



さいしんビジネスフェア2025
特設ブース展示権

埼玉県信用金庫



「かわしん景況レポート」への
受賞者紹介記事の掲載

川口信用金庫



「あおしん景況レポート」への
受賞者紹介記事の掲載

青木信用金庫

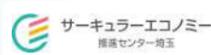


「はんしん景況レポート」への
受賞者紹介記事の掲載

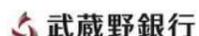
飯能信用金庫

SPONSOR 共催・協賛・後援

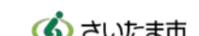
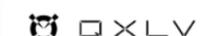
共催



協賛



後援



FINAL PITCH

ファイナルピッチ

2024.11.12(火)

会場:さいたまスーパーアリーナ TOIRO STUDIO

主催:埼玉県

お問い合わせ

CSUP事務局(平日10:00~18:00/土日・祝日は休業)
E-MAIL: csup-saitama@jimukyoku.jp TEL: 050-3644-5519

詳しい募集要項や
今後のニュース等は
こちらからご確認ください。



THEME テーマ

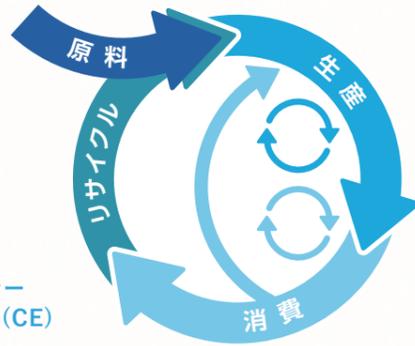
「埼玉県内で展開するサーキュラーエコノミーのビジネスプラン」

ABOUT CSUP シーサップとは

CSUP(シーサップ)は、埼玉県が主催するサーキュラーエコノミーに特化したビジネスプランコンテストです。全国のスタートアップ企業や社内ベンチャー等を対象に、埼玉県内で展開する先進的なビジネスプランを募ります。受賞企業には県内での事業展開を支援します。

サーキュラーエコノミーは生産活動や消費活動などのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図る経済活動を指します。

サーキュラー
エコノミー(CE)



JUDGING 審査について

スケジュール

ファイナルピッチでは、書類選考による一次審査を通過した8者のファイナリストがプレゼンテーション審査に挑みます。

ファイナリスト8者

2024. 8.1(木)～9.20(金)

エントリー期間

2024. 10. 中旬

一次審査(書類審査)

2024. 11.12(火)

ファイナルピッチ・受賞者決定

審査の視点

有効性	新規性・先進性	具体性・実現可能性	発信性	波及性	継続性・発展性
-----	---------	-----------	-----	-----	---------

審査員

下記5名の審査員の他、埼玉県職員1名が加わり審査いたします。

審査員長



吉高 まり 氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
フェロー(サステナビリティ)



河内 幾帆 氏

金沢大学
融合研究域融合科学系
准教授



小中 洋輔 氏

三井住友信託銀行株式会社
Technology Based
Financeチーム
シニアマネージャー



坂野 晶 氏

一般社団法人
ゼロ・ウェイスト・ジャパン
代表理事



那須 清和 氏

サークルデザイン株式会社
代表取締役
/ Circular Economy Hub
編集長(ハーチ株式会社運営)

FINALIST

ファイナリスト

FINALIST
01



再生材プラットフォームを
活用した資源循環インフラ構築

株式会社TBM
プロジェクトリーダー 五十嵐 一樹

自治体・金融機関・産廃業者等と連携して再生材プラットフォームへの無償登録を促進し、地域の再生材需給や循環量を可視化。将来的に、エリアの再生材調達力の優位性を作り、地域の製造業が世界的に競争力を強化することに寄与する「地域インフラ」を目指す。

FINALIST
02



醤油粕燻製材から始まる
埼玉発アップサイクル×
マッチングサービス

Smoke-i-freet
代表 辻 健太郎

醤油粕(年間10万トン)は塩分/水分により飼料一択のため収益化できていない。本事業は木材に変わる醤油粕燻製材で新たなアップサイクルを提供し、志を持った人を繋げることで、経済的に成り立つ循環型社会を実現することを目的とする。

FINALIST
03



ウールで創る
サーキュラーエコノミーと地域活性

株式会社Spicelink
代表取締役CEO 高田 基以

ウールパレル製品を肥料化し、県内農業と連携した循環モデルを構築。循環体験と観光資源を組み合わせたコンテンツ開発で環境問題の解決と地域活性化を目指します。

FINALIST
04



埼玉県における木製パレットの
利活用と農業用特化木炭の開発

株式会社ジェイ・シー・ティー
代表取締役 市川 忠義

木製パレットのサーキュラーデザイン化により、適切な管理やメンテナンスを行う事で長寿命化。パレットとして使用できなくなった後も木工製品や木炭製品として再利用を可能にする。また、木炭を、土中利用(農業など)する事で、脱炭素社会の実現に寄与する。

FINALIST
05



発泡ウレタン、ポリスチレン等を
200℃で分解する触媒の開発

AC Biode株式会社
代表取締役社長 久保 直嗣

従来、マテリアルリサイクルではリサイクルできない、混合、汚れた廃プラ、また発泡ウレタン、ポリスチレン、有機廃棄物を200℃、有機溶媒無し、貴金属無しにて、モノマーや水素等に解重合する触媒の開発。ケミカルリサイクルでは、半永久的にリサイクルも可能。

FINALIST
06



石膏ボード水平リサイクルによる
循環型社会の実現

株式会社GYXUS
代表取締役社長 平田 富太郎

埼玉県内で発生する石膏ボード廃棄物を水平リサイクルして、再び石膏ボード製品として利用する事業です。水平リサイクルした商品は既存石膏ボード製品と比較しても遜色なく、安心・安全にお使いいただく事ができます。

FINALIST
07



耕作放棄地よりバイオ炭を
生成する循環型社会推進プラン

ミドリクNbS株式会社
代表取締役 関 隆史

放置竹林問題解決プランです。放置竹林問題は全国的な課題と言われており、土砂災害リスクの向上、里山の生態系の破壊などの要因となります。弊社では竹林の伐採や伐採の際に生じた廃材の利活用、竹林整備活動のPRまでをワンストップで支援します。

FINALIST
08



排出事業者向け
「使用済み紙おむつリサイクル」

サステナブルクリエイティブ株式会社
代表取締役社長 大嶋 武

これまでの「埋める・燃やす」から「使う・活かす」をキーワードに、社会課題への解決に向けた新たな事業サービスでもある「使用済み紙おむつの100%リサイクル」をテーマに、サーキュラーエコノミーの実現と共に脱炭素社会への貢献を致します。